かぜ・そら・たいようぐみだより　11月号

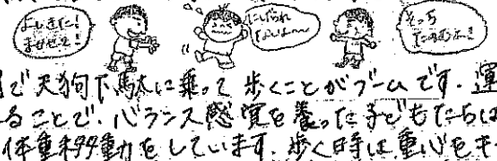
2020、11、30　円町おがね幼保園

一段と日が暮れるのが早くなり、朝晩の冷え込みが晩秋の訪れを感じさせます。11月は園外保育や散歩に出かけ、秋の心地良い気候を感じて戸外で沢山遊びこと出来ました。手洗い、うがい、消毒をして、風邪や感染症の予防に努め、12月も元気に過ごせるようにしていきたいです。

たいようぐみ

集団あそび　戸外へ出ると、"おにごっこするもの　このゆびとまれーよ"とみんなが集まり鬼決めをしています。鬼ごっこの中でも水鬼が好きで、よく遊んでいます。鬼は子ども2人でして、相手を捕まえようと、作戦を立て、協力し合います。土俵の中に相手を追い込み、そこには、もう片方の鬼が待機し、挟み打ちをして、タッチします。また、"まもりして!"というように、片方の鬼は捕まえた子どもを守り、片方は追い掛けるなど、互いに声を掛け合い、連携し合うようになっています。逃げる側は仲間を助けたい一心で鬼が動く動向を見つつ、狙っていきます。"○○くん、おとりになって!"タッチされているあいだに○○ちゃん　たすけるね"など、誰かをおとりにして、その隙に周りを助けていくという守りも編み出してきています。以前は鬼からタッチされても受け入れられず動いていたり、"タッチされていない!"とルールを守らずにいる姿がよくありました。遊び込む中で、ルールを守って遊ぶことが楽しい!面白い!と感じ始めてきた。この頃です。まだまだ友だちとのトラブルは多いですが友だち同士で話し合う姿もあり、出来る限り、見守っています。"友だちと遊ぶことが楽しい!"と思うことをたくさん経験し、その中で様々な相手の思いを知っていって欲しいと思います。寒さも増してきますが、寒さに負けず、たくさん身体を動かし、丈夫な身体作りを目標としていきます。

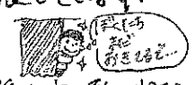
天狗下駄



今、子どもたちの間で天狗下駄に乗って歩くことがブームです。運動会ごっこで竹馬に乗ることで、バランス感覚を養った子どもたちは、天狗下駄でも、上手に体重移動をしています。歩く時は重心をキープしながら、姿勢を正し進めます。バランス感覚を養うことはもちろんのこと足の指や足裏に神経を使うので、土踏まずの形成や、姿勢の良さにもつながります。

乗り始めの頃は足元がぐらつき、前へ倒れてしまうこともたくさんありましたが"こうやってのるんやで"と乗り方を教えてもらうことや励ましもあり、また一人、また一人と乗れるようになってきています。乗りこなせるようになってきた友だちは、ケンケンをしたり天狗下駄鬼ごっこをしてみたりと、あそびが発展しています。

おひるね、ないねん!



今月から、就学を向かえる為に午睡を少しずつ少なくしていきます。そして、火、水、木曜日は午睡をしないで過ごしてきました。午睡をせず遊べる事が嬉しい子どもたちは登園するなり、"きょうはおひるねないよね?"と保育者に尋ね、"うん、今日は○曜日やから、ないよ。"と応えると、"よっしゃ〜!せった〜!"といつもはあそべる!"と大喜びです。昼からの活動は園庭や近くの公園で遊んでいます。室内で過ごす時はかぜ組の保育室にカーテンを仕切り、描画や制作、コーナーあそびをしています。かぜ、そら組のみんなが寝ている時に遊んでいることが嬉しくて、気持ちも盛り上がり、何度もカーテンを開けて見に行く姿がありました。日を追うごとに少しずつ落ち着いて過ごせるようになってきています。12月は午睡をなくしていきます。毎日、充実して遊べるよう、無理せず子どもたちの姿を見て、保育を進めていきます。ご家庭でも十分な休息が取れるように、早寝早起きの習慣を身に付け、規則正しい生活を過ごしてくださいますようにお願いします。

そらぐみ

◎ たのしかった園外保育

11月は良化公園と二条公園に行ってきました。お天気に恵まれ、気持ち良く過ごすことができました。「おべんとうもってきたで!」「きょうは2だんべんとう!」「はやくいきたい!」と朝からワクワクしています。楽しみな気持ちが全面に出ていて軽い足どりで歩きます。そして、しりとりを楽しんだり、「みて〜!きれいやなぁ〜!」と色付いた葉っぱを見つけたり、公園で何の遊びをしようかと話したり楽しそうです。公園に着くと、広い場所に大喜びの子どもたちです。約束事など話してから早速、鬼ごっこを始める子どもたちもいれば、落ち葉や草花を集める子ども、水たまりを見つけ、葉っぱを浮かべて魚つりに見立てて遊ぶ子どもなどそれぞれに楽しい遊びを見つけ、夢中になって遊ぶ姿がありました。寒くなってきて虫もいないかと思われましたが、良化公園ではバッタを見つけ嬉しそうです。ぼくも!と必死に探す姿がありました。葉っぱの垣根は葉っぱのお家に大変身です。子どもたちしか入れないくらいの小さな隙間から上手に入り、まるで秘密基地のように何度も入って隠れたり、友だちと中の道を進むのを楽しんでいました。ポカポカと日射しが照り、暖かい気候の中でお弁当を食べて「おいしいわぁ〜!」「ありがとう、ていお。」と愛情が詰まったお弁当に嬉しそうな子どもたちです。寒くなってきましたが　これからも戸外でも元気い身体を動かして遊びたいと思います。

◎ おおきくなりますように

夏に引き続き、冬も野菜を育てています。先日、キャベツと空豆の苗植えをしました。「すっご〜!」と苗も観察し、順番に植えました。「おおきくなるかなぁ?」「どこから実ができるやろ?」「キャベツだいすきやねんなぁ〜!」と楽しい会話がはずみます。「おおきくなりますように!」とみんなでお祈りし、収穫できる時を楽しみに大事に育てていきたいと思います。

◎ 仲間の中で

友だちと一緒に共通の目的を持って遊んだり、イメージを膨らませたり、ルールのある遊びを楽しんだりする姿があります。自我を主張してけんかの中でも自分の思いを伝え合い、時には涙して感情をぶつけたり、思いが抑えきれず、手が出てしまったりする場面もあります。友だちの姿も「やさしい」「おもしろい」「よくたたく」「すぐおこる」など表面的な所にとらわれていることも多くあります。様々な遊びの中でのぶつかり合いはとても大切で、友だちの行動や友だちとの関係をみつめ、作り直す力を蓄えている所が大いにあると思います。そのような部分も含め、時間はかかるけれど、楽しいあそびを提起したり、楽しかったこと、嬉しかったこと、嫌だったこと、困ったことなどをみんなの問題にして、少しの時間でも話し合い、確認し合う機会を大切にしていきたいと思います。

かぜぐみ

当番活動

そら、たいよう組の友だちがしているのを見て、当番をしてみたい気持ちの子どもたちです。一緒に給食を食べる時は、そら、たいよう組の当番の横に立って、一緒にしている子どももいました。　みんなで当番表にする絵を描いて、かぜ組も当番活動を始めました。

当番のすることは、みんなの前に立ち、給食やおやつの前のお祈りをするのですが、当番表を見て、「きょうは、だれのおとうばん?」「きょうは、○○ちゃんのおとうばんや」「あしたは、ぼくの(わたしの)おとうばん?」と自分の番がくるのを楽しみにしています。当「いいですかー」子「いいですよー」当「おしょくじにいたしましょう」…　はじめは、1人でみんなに声をかけるのは恥ずかしくて、前に出たものの、モジモジする子どもや、(聞こえないくらいの)小さい声で声をかけている子どもがいました。しかし、何度か、当番をしたり友だちがするのを聞いたりして、だんだんと自信もつき、今では大きな声で声をかけています。

自分のことは自分で

一日の生活の中で、今まで保育者がしていたことも、少しずつ自分たちでしています。　午睡時、保育者が、お布団を半分折りにして並べておくと自分で広げて寝ていたのですが、今は、給食を食べると端に置いた布団の中から、自分のを見つけてゴザの上に敷きに行きます。給食が終ると「おふとん　しいてくるー」と喜んで敷いています。

又、おやつ後は、自分で帰る用意をします。

洗濯物の袋の口を一回結んでリュックの中に入れます。まだ1人では難しいので、「(袋の持ち手を)ペケにして」「くるっと回してトンネルに入れて」「ひっぱって」と保育者と一緒にしています。　はじめは、どうクロスさせるのがいいのか、どこのトンネルに入れるのか、どことどこを引っぱるのか分からず、一つひとつ保育者が声をかけて手伝ってもらい、一緒にしました。　しかし、毎日することで、だんだんこつが分かりスムーズに結べるようになったり、「できたー!!」と1人で結んだりする子どももいます。

自分の身の回りのことだけではなく、活動や様々な場面の中で、1人ですることが、ますます増えてきています。

友だちと一緒ならできるけれど、1人でとなると、少し自信がなかったり、緊張したりして、「ひとりでは、できない」「ひとりでは、いけへん」「はずかしい」など訴える子どももいます。

又、ちょっとがんばればできることもすぐに「〜やって!」「〜もって!」と頼ってしまう子どももいます。

自分でやってみるということを大切にし、自分でできることは自分でするという経験を積み重ねていくことで、"1人でも大丈夫"と、自信に繋げていきたいと思います。